

ミニバラ(四季咲き)のお手入れ方法

『お手入れカレンダー』 お花を元気に育てていただくための参考として、見やすい場所に貼ってください。

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|------|--------------|-------|---------------------------|----|----------------|----|----------|----|---------------|-----|-----|-----|
| 生育 | 休眠期 | | 開花期 | | | | | | | | | 休眠期 |
| 置き場所 | 日当たりの良い室内 | | 日当たり・風通しの良い戸外 | | | | 半日陰の戸外 | | 日当たり・風通しの良い戸外 | | | 室内 |
| 水やり | 土の表面が乾いたら水やり | | | | | | 夏は乾かさない！ | | | | | |
| 施肥 | | 元肥 | 開花後、液肥を週に1回程度、置肥は20日に1回程度 | | | | | | | | お礼肥 | |
| 作業 | | 剪定・植替 | | | 開花後随時花殻取り・切り戻し | | | | | | | |

※この表は、関東地方を基準としているので、地域によって表とは時期が異なる場合があります。

| | |
|---------------|--|
| 置き場所/ 日当たり | 少なくとも朝日が10時すぎまで当たる場所が理想です。 冬は室内でガラス越しの日光に当てましょう。春から戸外の日当たり・風通しの良いところに置き、夏は半日陰で管理します。 |
| 水やり | 鉢土の表面が乾いたら、水をたっぷり与えます。水は、花や葉にかからないよう根元にあげてください。夏の時期は乾かさないように注意します。底面給水の場合、 ひどく乾燥するときや暑い時期は鉢底の水を切らさないようにしてください。 |
| 施肥 | 剪定後の芽出し、植え替え時の元肥として遅効性肥料を鉢土に混ぜます。開花後、液肥を週に1回程度、置肥は20日に1回程度与えます。11月頃、開花によって消耗した株を回復させるため、お礼肥として有機肥料を与えます。 |
| 花殻取り/ 切り戻し | 【6～8月】 花殻は、こまめに摘み取ってください。また背丈が伸びてきた花は、咲き終わったら葉を2～3枚つけて切り戻してください。株作りをする場合、6月下旬から8月まで花つぼみを全て取ります。 【9月】 全体の1/3ほど切り戻し、秋の花を楽しみます。 |
| 剪定 | 剪定は12月～2月に行い、地際から15cm程度の高さに切り揃えます。剪定後、肥料を施し芽に活力を与えると、春には見事に花を咲かせることができます。 |
| 植替 | 花が全て咲き終わったら、プランターや花壇に植え替えます。剪定と植替を同時期に行う場合は、作業のしやすさを考えて植替の前に剪定をすると良いでしょう。剪定をしたら株を鉢から抜いて、新しい土に植替えてください。植え替え時には、元肥として遅効性肥料を少量鉢土に混ぜます。鉢で育てる場合、基本的に毎年植替えるようにします。 |
| 病虫害対策 | うどん粉病や黒点病の予防には、春に芽吹きだした頃、月に2回程度市販の薬剤で殺菌を行います。殺虫を行う場合、3月と9月に粒剤を2～3g程度置くようにすると便利です。このほか、日当たりや風通しを良くする工夫も必要です。 |